

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 1 日

事務事業名		コミュニティバス運行事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	050401001014	
						単独/補助	補助	所属課	060201	
政策体系	総合計画の施策名	0504 公共交通の充実						課長名	都市整備課	
	政策名	05 快適な暮らしのまちづくり						グループ	都市政策G	
	施策名	04 公共交通の充実						担当者名		
	手段名	01 ①公共交通網の整備								
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	02	01	08	03	00	公共交通事業			
法令根拠	道路運送法						単年度繰返し (平成28年度~)			
							☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移								
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)	
<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況把握。 ・問い合わせや要望受付。 ・公共交通会議開催など運行方法見直し ・チラシや広報紙などによる情報発信。 ・定期券券券取りまとめ、運行委託料支払い。 ・国・県の補助金手続き。 	市内説明回数 (地区意見交換、高齢者、民生委員等)	回	6.00	12.00	6.00	6.00	6.00	
	広報紙掲載 (利用者数)	回	12.00	13.00	12.00	12.00	12.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)	
・市民	人口	人	39,692.00	38,905.00	38,118.00	37,331.00	36,544.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)	
・桜川市バスや桜川市内巡回ワゴンの利用者数を増やす。	桜川市バス (筑波・岩瀬間) の1便当たり利用者数	人	7.70	9.00	10.00	10.00	10.00	
	桜川市バス (筑波・岩瀬間) の収支率	%	21.98	21.60	22.00	22.00	22.00	
	桜川市内巡回ワゴンの1便当たり利用者数		0.00	1.00	2.00	2.00	2.00	

(3) 投入量 (事業費) の推移		01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	期間限定総投入量	
投入量	事業費内訳	国庫支出金 千円	13,494	9,894	8,815	0
		県支出金 千円	0	0	0	0
		地方債 千円	0	0	0	0
		使用料・手数料 千円	0	0	0	0
		その他 千円	0	0	0	0
		一般財源 千円	27,605	66,954	69,763	0
		事業費計 (A) 千円	41,099	76,848	78,578	0
	正規職員従事人数 人	3.00人	2.00人	2.00人		

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)		03年度事業費 予算 (千円)	
	12 委託料	76,848	12 委託料	78,578
	合計	76,848	合計	78,578

事務事業名	コミュニティバス運行事業	事務事業No.	50401001014	所属課	都市整備課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ エリア運行のデマンドタクシーのみであった当市の公共交通に対し、市民から定時定路線のバス運行要望があり、平成28年10月より地方創生の交付金を活用して本事業を開始した。また、令和2年4月から市内巡回ワゴンが運行を開始した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 桜川市バス路線の沿線地区から追加のバス停設置や一部ルートの見直しなどの要望が寄せられている。また、沿線地区以外でも同様の交通機関運行の要望がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 公共交通の充実に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 民間での運営は採算面から困難である一方、市民の移動の確保は日常生活の基礎となるものであることから、地方の公共交通はインフラの一つとして捉え、市が関与することが妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 桜川市バス運行ルートやダイヤの見直しにより利便性の向上を図るほか、福祉部局や観光部局とのタイアップにより、更に利用者数を増やせる余地がある。また、桜川市内巡回ワゴンについては、導入後の見直し余地が大きい。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 現在、小学生や高校生をはじめ、多くの市民の日常の足となるものであり、廃止・休止の影響は大きい。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業は無い。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 利用者数を増やし、収支率を高めることにより、実質の事業費を削減できる余地がある。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 利用はクルマで移動できない交通弱者である学生や高齢者が多くを占めているが、弱者救済の観点から公正・公平である。
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	桜川市バスの利用者数は年々増加しており、周知が図られてきている。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 桜川市バスは運行ルートやダイヤの見直し等により利用者数を増やす余地と、それに伴う収入増加により収支率を改善する余地がある。そのために、地域の利用ニーズを把握するためのヒアリングや意見交換が大切である。また、桜川市内巡回ワゴンも同様に利用者数や収支率改善の余地があるが、こちらは周知活動に重点を置く必要があり、高齢者の会合での説明やイベントでのPRキャンペーンが必要である。		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加		○													
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
	○																									
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	①																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>